

ここでは OnStation の導入方法について解説する。

1. 図 1 の様にデスクトップに zip フォルダを保存する。



図 1 デスクトップ上に保存された zip フォルダ

2. 保存した zip フォルダを選択後、図 2 のように右クリックしたときに表示されるショートカットメニューの [すべて展開(T)] をクリックし、図 3 のように表示された「圧縮(ZIP 形式)フォルダーの展開」ウィンドウの [展開(E)] を選択し、zip フォルダを展開する。

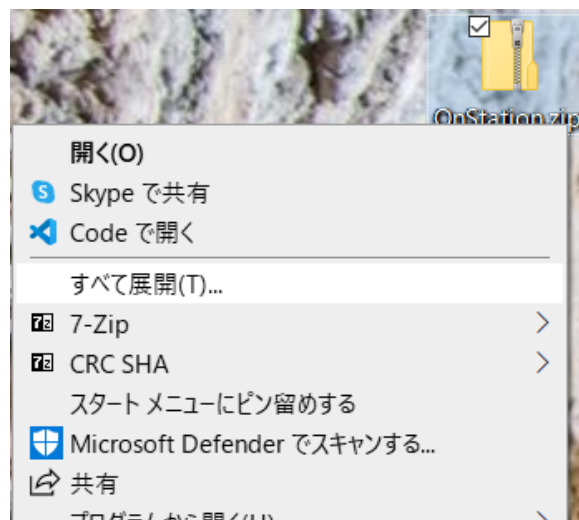


図 2 zip フォルダ選択時のショートカットメニューにある [すべて展開(T)]

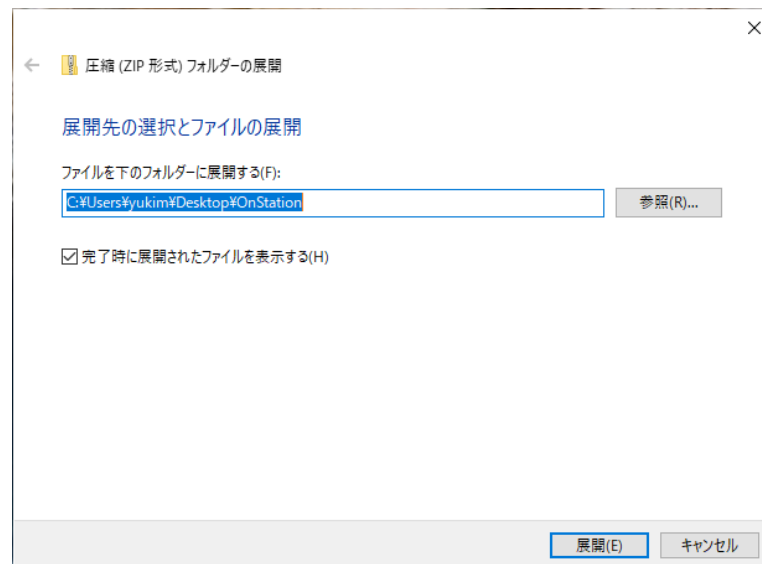


図 3 「圧縮(ZIP 形式)フォルダの展開」ウィンドウ

3. 展開した”OnStation” フォルダを "C:\Program Files" 直下にコピー & ペーストし、このとき表示される図 4 の「対象のフォルダーへのアクセスは拒否されました」ウィンドウ上にある [続行(C)] をクリック。

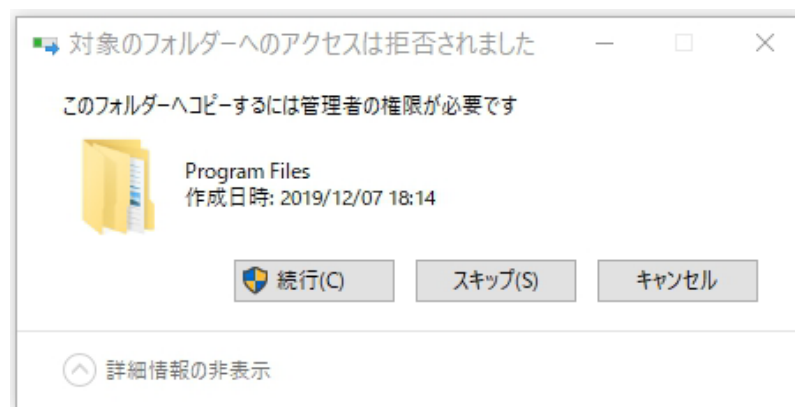


図 4 ファイルをコピーした際に表示される権限の確認を行うウィンドウ

4. 図 5 のように "C:\Program Files\OnStation" のディレクトリ内にある "OnStationSetup.bat" をダブルクリックしてアプリを起動させる。

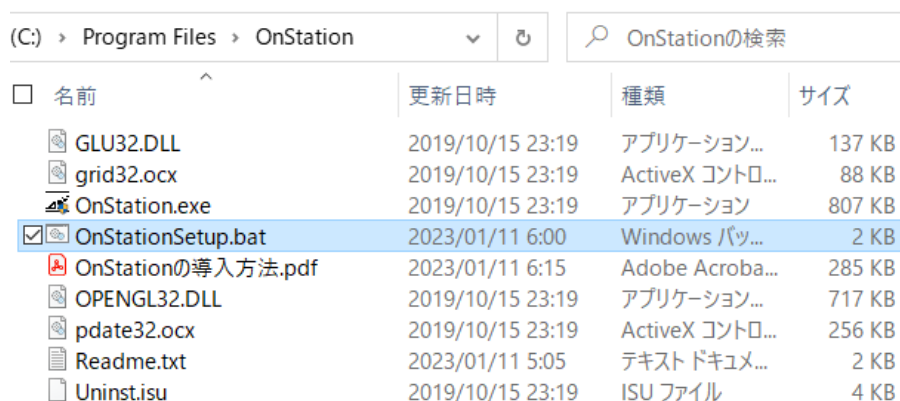


図 5 展開したフォルダ内と"OnStationSetup.bat"

5. "OnStationSetup.bat" が起動すると図 6 のようにコマンドプロンプトが起動され、次の 1 文を表示し、ウィンドウが自動で閉じられる。前項で起動した "OnStationSetup.bat" を「管理者として実行(A)」で起動させると、この画面は表示されない。

- Since it was executed with general privileges, re-execute it with administrator privileges.

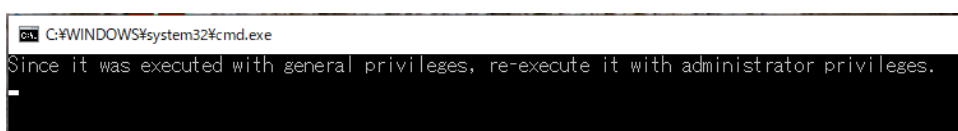


図 6 バッチファイルを起動すると表示されるコマンドプロンプト

6. 前項のコマンドプロンプトに続けて、図 7 のように「RegSvr32」ウィンドウが 2 度表示され、それぞれのウィンドウ上に以下の 2 文が表示される。それぞれのウィンドウ上にある [OK] をクリックし、ウィンドウを閉じる。

- C:\Program Files\OnStation\grid32.ocx の DllRegisterServer は成功しました。
- C:\Program Files\OnStation\pdate32.ocx の DllRegisterServer は成功しました。

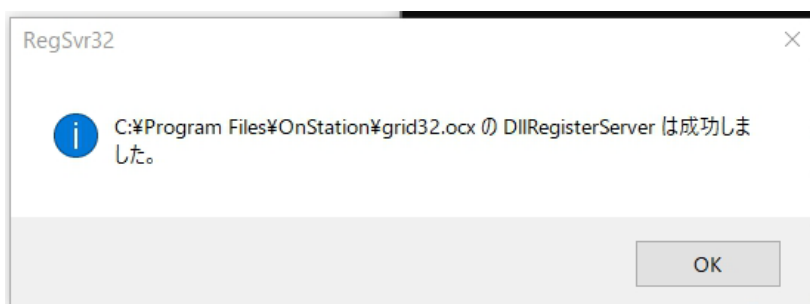


図 7 OCX の登録が成功したことを知らせるウィンドウ

7. 図 8 のように “OnStation.exe” を右クリックしたときに表示されるショートカットメニューの [ショートカットの作成(S)] をクリックし、図 9 のように「ショートカット」ウィンドウ上の [はい(Y)] をクリックすることで、デスクトップ上にショートカットが作成される。

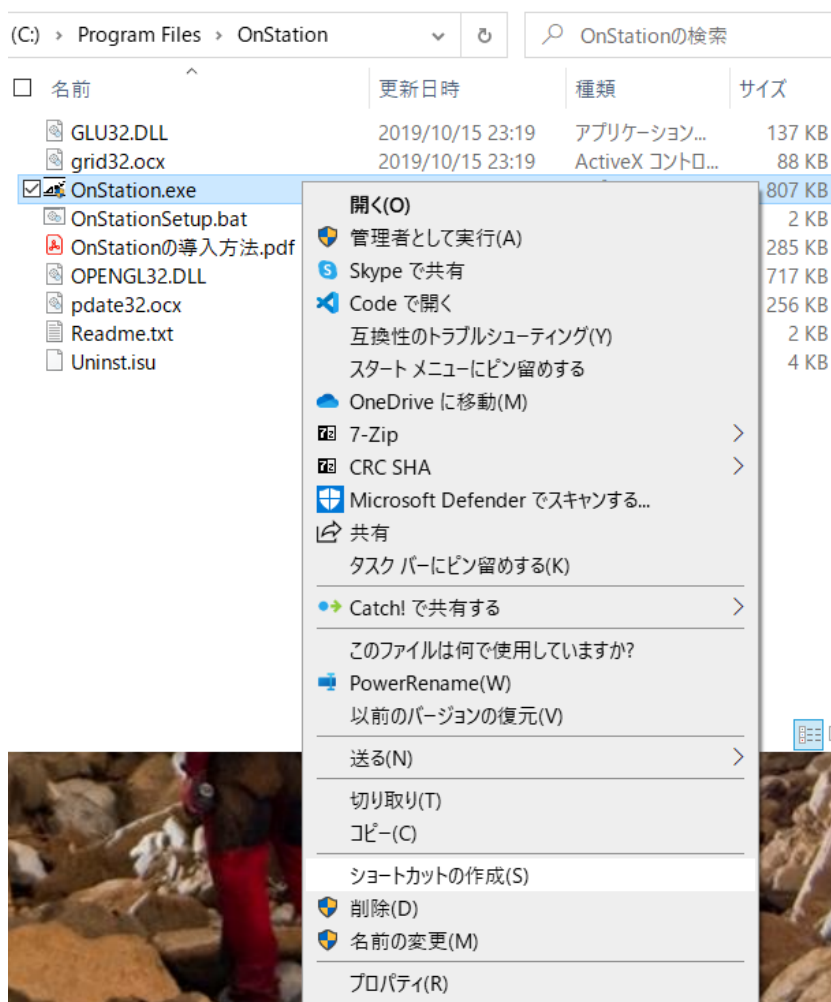


図 8 “OnStation.exe” の [ショートカットの作成(S)]

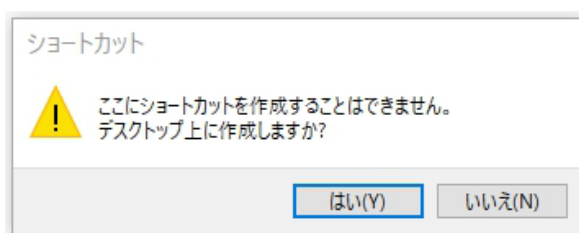


図 9 ショートカット作成時の確認ウィンドウ

8. 図 10 のように作成したショートカットを使って図 11 のように “OnStation.exe” を起動する。

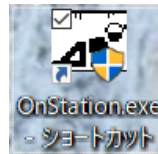


図 10 デスクトップ上に作成されたショートカット

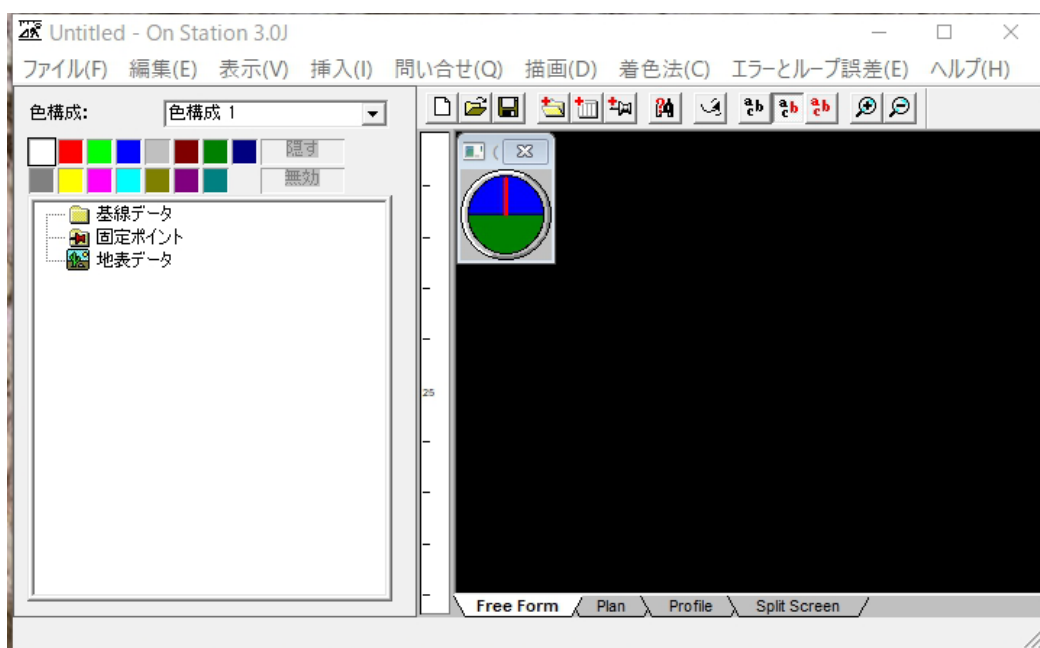


図 11 OnStation.exe の起動ウィンドウ

9. 起動したアプリのウィンドウ上でマウスをスクロールするとアプリが終了する場合は、“C:¥Program Files¥OnStation” のディレクトリ内にある下記の 2 つの DLL ファイルを削除すると正常に動作する。[Ctrl]キーを押しながら、2 つの DLL ファイルをマウスで選択し、右クリックすると表示されるショートカットメニュー内の [削除(D)] を選択。図 12 のように表示された「ファイル アクセスの拒否」ウィンドウにある「すべての項目にこれを実行する(A)」にチェックを入れ、[続行(C)] をクリックすると 2 つの DLL ファイルが削除される。
- GLU32.DLL
 - OPENGL32.DLL

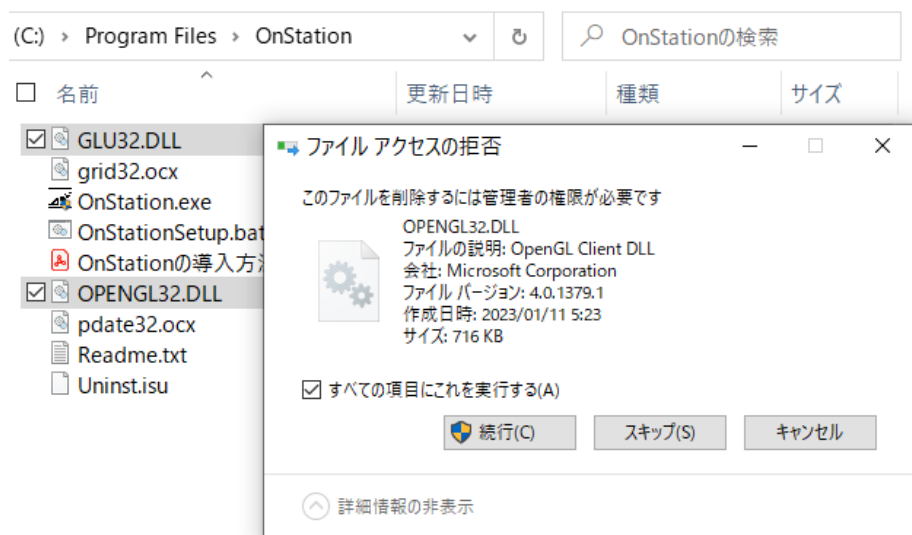


図 12 DLL ファイル削除時に表示されるアクセスの拒否ウィンドウ